

弓削商船高等専門学校
地域共同研究推進センター
令和7年度活動記録



目次

◆地域共同研究推進センター長挨拶	1
◆令和7年度地域共同研究推進センター活動内容	2
1. 会議等	2
(1) 地域共同研究推進センター運営委員会（学内）	
(2) 四国地区高専地域イノベーションセンター	
(3) 第4ブロック研究推進ボード	
(4) 愛媛グローバル・フロンティア・コンソーシアム	
(5) 日本財団オーシャンイノベーションコンソーシアム	
(6) 弓削商船高等専門学校技術振興会	
2. 地域連携事業	7
3. 産学連携事業	8
4. 共同研究、受託研究、外部資金獲得の推進	11
5. 知的財産関連事業	12
6. 教育研究の振興	12
◆令和7年度研究等に関する報告	13
1. 共同研究	13
2. 受託研究	14
3. 科学研究費助成事業	14
4. 研究助成等	15
5. 技術相談	16

地域共同研究推進センター長挨拶

地域共同研究推進センター令和7年度活動記録発行にあたって

令和7年度、地域共同研究推進センターでは、技術振興会「しまなみテクノパートナーズ」の会員企業の皆様との連携を深めるとともに、本校の教育・研究成果を地域から全国、そして世界へと発信することに注力して参りました。

今年度は、本校にとって「挑戦」と「発信」の年となりました。特筆すべき活動として、世界的な祭典である2025日本国際博覧会（大阪・関西万博）の共鳴フェス「高専未来チャレンジ」への参加、そして日本最大の海事展である「バリシップ2025」への学校としての初出展が挙げられます。これらの大きな舞台において、災害支援機能や高度な観測機器を備えた4代目練習船「弓削丸」が持つ多様な可能性、そして社会課題解決に挑む本校独自の工業系学生育成プログラムについて、その成果と魅力を広くPRすることができました。これらの活動を通じて得られた知見や新たなネットワークは、今後の本校の教育研究活動において大きな財産になるものと確信しております。

また、12月に開催された「産学連携フォーラム2025・専攻科特別研究中間発表会」においては、一般講演として四国通建株式会社より中西武氏をお招きし、「四国通建における業務プロセスデジタル化の取組みについて」と題してご講演をいただきました。地域インフラを支える現場におけるDX推進の具体例は、参加された皆様にとって業務改革への大きなヒントになったことと存じます。

今後も、しまなみ地域にある高等教育機関として、商船学、電子機械工学（電子機械工学科は令和8年度から創造工学科に改組）、情報工学の専門性を活かした地域性の高い研究を推進し、これらの研究シーズを武器に、地域企業と連携した活動を推進することが当センターの大きな役割であります。当センターの運営は、本校技術振興会「しまなみテクノパートナーズ」の企業会員様、個人会員様、本校教職員の皆様の多大なるご支援とご協力によるものであり、ここに厚く御礼を申し上げます。

最後に、産業界はDXやGXへの対応、そして急速な技術革新の中にあります。本会で結ばれた人とのつながりを活かし、地域から新たなイノベーションが創出されることを祈念して、活動記録発行のご挨拶とさせていただきます。

令和8年3月

弓削商船高等専門学校
地域共同研究推進センター長
田房 友典

令和7年度地域共同研究推進センター活動内容

1. 会議等

(1) 地域共同研究推進センター運営委員会（学内）

【令和7年度第1回地域共同研究推進センター運営委員会】

日 時：令和7年4月24日（木）～4月30日（水）

場 所：メール審議

出席者：委員12名

議 題：＜審議事項＞

1. 令和6年度活動記録（案）について
2. 令和7年度の活動内容と役割分担（案）について

【令和7年度第2回地域共同研究推進センター運営委員会】

日 時：令和7年7月2日（水）～7月4日（金）

場 所：メール審議

出席者：委員11名

議 題：＜審議事項＞

1. 弓削商船高等専門学校教育研究設備・機器共用規則の改正及び細則の制定について

【令和7年度第3回地域共同研究推進センター運営委員会】

日 時：令和7年11月14日（金）～11月20日（木）

場 所：メール審議

出席者：委員12名

議 題：＜審議事項＞

1. 日本財団オーシャンイノベーションコンソーシアムの参加について
＜報告事項＞
 1. 企業との連携に係る商品の校章利用について

【令和7年度第4回地域共同研究推進センター運営委員会】

日 時：令和8年1月20日（火）16：30～16：45

場 所：第一会議室

出席者：委員7名

議 題：＜審議事項＞

1. 練習船「弓削丸」の災害支援利用推進に関する連携協定書について

【令和7年度第5回地域共同研究推進センター運営委員会】

日 時：令和8年3月2日（月）16：05～16：35

場 所：第一会議室

出席者：委員10名

議 題：＜審議事項＞

1. 弓削商船高等専門学校生命倫理委員会規則の制定について
2. 共同研究の受入について

【令和7年度第6回地域共同研究推進センター運営委員会】

日 時：令和8年3月24日（火）～3月30日（月）

場 所：メール審議

出席者：委員9名

議 題：＜審議事項＞

1. 受託研究の受け入れについて

(2) 四国地区高専地域イノベーションセンター

【令和7年度第1回四国地区高専地域イノベーションセンター運営委員会】

日 時：令和7年9月25日（木） 10：00～10：40

場 所：Teamsによるオンライン会議

出席者：地域共同研究推進センター長 田房 友典

議 題：1. 令和6年度第2回四国地区高専地域イノベーションセンター運営委員会議事要旨
について

2. 四国地区高専生命倫理委員会について
3. 令和7年度活動運営費分担金（案）について
4. 令和7年度活動の経過と今後の予定について
5. その他
 - ・四国地区高専地域イノベーションセンター長について
 - ・パテント（特許）出願状況について

【令和7年度第2回四国地区高専地域イノベーションセンター運営委員会】

日 時：令和8年3月4日（水）～3月11日（水）

場 所：メール審議

出席者：地域共同研究推進センター長 田房 友典

議 題：1. 令和7年度活動運営費の報告について

2. 令和8年度四国地区高専地域イノベーションセンター組織について
3. 生命倫理委員会について
4. 令和8年度四国地区高専地域イノベーションセンター運営委員会名簿について

【日本弁理士会四国会・四国地区高専地域イノベーションセンター連携事業 第11回知財活動研究会】

日 時：令和8年3月3日（火）14：00～16：00

場 所：Teamsによるオンライン会議

出席者：地域共同研究推進センター長 田房 友典
日本弁理士会四国会 弁理士 壬生 優子 氏
陪席1名

議 題：1. 令和7年度知財活動の取組状況報告

(3) 第4ブロック研究推進ボード

【令和7年度第2回第4ブロック研究推進ボード委員会】

日 時：令和7年10月29日（水）15：00～15：50

場 所：Teamsによるオンライン会議

出席者：地域共同研究推進センター長 田房 友典

- 議 題：1. 令和7年度第1回第4ブロック研究推進ボード委員会議事要旨について
2. 令和7年度共同研究助成中間報告会の開催について
3. 第4ブロック研究推進ボード研究会の登録・解除および令和7年度第4ブロック研究会旅費助成について
4. 令和7年度予算執行計画について
5. 令和8年度第4ブロック内共同研究助成募集について
6. 第4ブロック研究推進ボード活動状況報告について
7. 第4ブロック研究助成事業採択グループの実績調査について
8. 令和7年度第3回第4ブロック研究推進ボード委員会の開催予定について

【令和7年度第3回第4ブロック研究推進ボード委員会】

日 時：令和7年11月4日（火）～11月14日（金）

場 所：FormsによるWEB審議

出席者：地域共同研究推進センター長 田房 友典

- 議 題：1. 令和8年度第4ブロック研究助成事業募集要項（案）の修正提案について

【令和7年度第4回第4ブロック研究推進ボード委員会】

日 時：令和7年12月16日（火）9：00～10：30

場 所：松江工業高等専門学校会議室（対面とオンラインを併用した会議）

出席者：地域共同研究推進センター長 田房 友典（オンライン）

- 議 題：1. 令和7年度予算執行計画について
2. 令和8年度研究助成事業採択グループの選定について
3. 第4ブロック研究推進ボード活動状況等について

【令和7年度第4ブロック研究推進ボード 研究助成事業中間報告会&マッチングイベント】

日 時：令和7年12月15日（火）13：20～17：10

場 所：松江工業高等専門学校 441 講義室（対面とオンラインを併用した会議）

出席者：地域共同研究推進センター長 田房 友典（オンライン）

（4）愛媛グローバル・フロンティア・コンソーシアム

【愛媛グローバル・フロンティア・コンソーシアム第2回勉強会】

日 時：令和8年3月5日（木）13：30～15：00

場 所：愛媛県水産会館6階 大会議室（松山市）

出席者：地域共同研究推進センター長 田房 友典

起業家工房センター長 榎本 浩義

【令和7年度愛媛グローバル・フロンティア・コンソーシアム総会】

日 時：令和8年3月5日（木）15：30～17：00

場 所：愛媛県水産会館6階 大会議室（松山市）

出席者：地域共同研究推進センター長 田房 友典

起業家工房センター長 榎本 浩義

（5）日本財団オーシャンイノベーションコンソーシアム

【日本財団オーシャンイノベーションコンソーシアムへ参加】

入会日：令和7年12月18日（木）

協力事項：1. 本コンソーシアムが主催するプログラムや業界見学等の学生への周知

2. 本コンソーシアム HP の会員企業・大学・公的機関等一覧に各校のバナーを掲載

（6）弓削商船高等専門学校技術振興会

【第1回実務担当者会議】

日 時：令和7年5月16日（金） 13：55～14：39

場 所：今治地域地場産業振興センター2階 小会議室（今治市）

出席者：地域共同研究推進センター長 田房 友典

地域共同研究推進センター副センター長 佐久間 一行

（陪席）企画広報室長、企画係長

議 題：1. 技術振興会総会等の資料について

（1）令和7年度技術振興会理事会・

総会等の日程について

（2）令和6年度事業報告（案）及び

会計報告について

（3）令和7年度事業計画（案）及び

予算（案）について



- (4) 役員の改選（案）について
- 2. 教員研究への支援経費について
- 3. その他
 - (1) バリシップの出展について
 - (2) 就職先の状況について

【理事会】

日 時：令和7年6月12日（木） 10：00～10：40

場 所：今治国際ホテル2階 会議室「カトレア」（今治市）

出席者：校長 内田 誠

地域共同研究推進センター長 田房 友典

（司会）地域共同研究推進センター副センター長 佐久間 一行

（陪席）企画広報室長、企画係長

- 議 事：（1）第1号議案 令和6年度事業報告について
 （2）第2号議案 令和6年度決算報告について
 （3）第3号議案 令和7年度事業計画（案）について
 （4）第4号議案 令和7年度予算（案）について
 （5）第5号議案 役員の改選（案）について
 （6）その他



【総会】

日 時：令和7年6月12日（木） 10：50～11：30

場 所：今治国際ホテル2階 会議室「ダイヤモンド」（今治市）

出席会員：25名（委任状61名）

- 議 事：（1）第1号議案 令和6年度事業報告について
 （2）第2号議案 令和6年度決算報告について
 （3）第3号議案 令和7年度事業計画（案）について
 （4）第4号議案 令和7年度予算（案）について
 （5）第5号議案 役員の改選（案）について
 （6）その他



【研究成果発表会】

日 時：令和7年6月12日（木）11：40～12：00

場 所：今治国際ホテル2階 会議室「ダイヤモンド」（今治市）

[令和6年度研究支援者による研究成果発表]

研究発表

題 目：「準傾理論を用いた三角圏構造の研究について」

発表者：総合教育科 助教 本間 孝拓



【第2回実務担当者会議】

日 時：令和8年3月6日（金）～3月13日（金）

場 所：メール審議

出席者：地域共同研究推進センター長 田房 友典

地域共同研究推進センター副センター長 佐久間 一行

議 題：1. 令和7年度事業報告（案）について

2. 令和7年度会計報告（案）について

3. 令和8年度事業計画（案）について

4. 令和8年度予算（案）について

2. 地域連携事業

(1) 愛媛銀行との連携事業

【令和7年度愛媛銀行・弓削商船高等専門学校情報交換会】

日 時：令和7年12月16日（火）16：00～17：00

場 所：愛媛銀行今治支店

参加者：株式会社愛媛銀行

執行役員 企画広報部長兼情報センター長 明賀 洋志 氏 外3名

弓削商船高等専門学校長 内田 誠 外7名、陪席2名

内 容：＜意見交換＞

・金融・社会基盤となるお金の知識について

・キャリア教育と人材育成の支援について

＜報告事項＞

愛媛銀行

・日頃の取引のお礼と「Handy Bank」について

本 校

・Ship Finance 特別講義へのお礼について

・「ローカル SDGs 四国表彰ユース部門賞」
受賞のお礼について



(2) 楽天モバイル株式会社・ソフトバンク株式会社との連携事業

【楽天モバイル株式会社・ソフトバンク株式会社と弓削商船高等専門学校連携協定締結式】

日 時：令和8年3月25日（水）14：00～14：30

場 所：第1会議室

参加者：ソフトバンク株式会社 テクノロジーユニット統括

エリア建設本部 四国ネットワーク技術部 部長 鎌仲 順人 氏 外1名

楽天モバイル株式会社 BCP 管理本部 本部長 磯邊 直志 氏

弓削商船高等専門学校長 内田 誠 外2名



3. 産学連携事業

(1) 弓削商船高等専門学校産学連携フォーラム2025・専攻科特別研究中間発表会 〈本校専攻科、技術振興会との共催〉

日 時：令和7年12月11日（木）10：00～12：00

場 所：アセンブリホール

参加者数：38名

[一般講演] 1件

C01-01 「四国通建における業務プロセスデジタル化の取組みについて」

○中西 武 氏（四国通建株式会社）

[専攻科特別研究中間発表] 5件

B01-01 骨格検知を用いた動物の歩行姿勢の推定」

○岡田 慈英（生産システム工学専攻1年）

益崎 智成（情報工学科准教授）、峯脇 さやか（情報工学科教授）

B01-02 「2つのマニピュレータを用いた3次元位置計測器のキャリブレーション」

○箱崎 和寿（生産システム工学専攻1年）

前田 弘文（情報工学科教授）、梶田 温子（情報工学科准教授）

B01-03 「離島の強風時における局所的な乱流特性に関する数値流体解析」

○旗手 健太（生産システム工学専攻1年）

ダワラ ガンバット（電子機械工学科教授）、政家 利彦（電子機械工学科准教授）

B01-04 「再生可能エネルギーを活用した電気温水器システムに関する研究」

○火田 凌輔（生産システム工学専攻1年）

ダワラ ガンバット（電子機械工学科教授）、政家 利彦（電子機械工学科准教授）

B01-05 「船舶探査用小型レスキューロボットの試作」

○桃谷 勇汰（生産システム工学専攻1年）

前田 弘文（情報工学科教授）、徳田 誠（情報工学科准教授）

[ポスター紹介] 会員企業2社

■技術振興会会員

- 1 日本オーチス・エレベータ株式会社
- 2 ダイハツインフィニアース四国株式会社



(2) 産学官連携による展示やセミナー等への出展

【バリシップ 2025 ブース出展及び練習船弓削丸一般公開】

日 時：令和7年5月22日（木）～24日（土）

場 所：テクスポート今治、今治港

主 催：インフォマーケッツジャパン株式会社



【2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）「高専未来チャレンジ」に出展】

「EXPO 共鳴フェスー万博から描く未来社会の技術、デザイナー」

日 時：令和7年6月18日（水）・19日（木）

場 所：万博会場内 EXPO メッセ「WASSE」（大阪）

主 催：2025年日本国際博覧会協会

本校参加者：商船学科 准教授 山崎 慎也

電子機械工学科 准教授 福田 英次

情報工学科 教授 田房 友典

准教授 益崎 智成

補助学生 3名



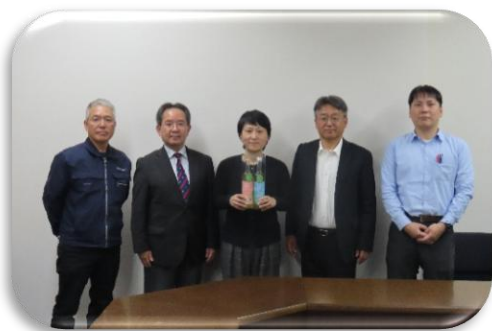
(3) 産学官連携による商品開発

【レモンリキュール新ラベル完成報告会】

日 時：令和7年12月1日（月）

場 所：第2会議室

参加者：株式会社いわぎ物産センター 大本 孝則 氏
桜うづまき酒造株式会社 徳永 美野里 氏
弓削商船高等専門学校長 内田 誠 外2名



(4) 資格試験対策講座〈技術振興会との共催〉

【高所作業車運転特別教育】

日 時：令和7年11月21日（金）、22日（土）

場 所：アセンブリホール（学科教育）
管理棟前（実技教育）

講 師：（株）アイチコーポレーション

受講者数：12名



【フルハーネス型墜落制止用器具特別教育】

日 時：令和7年11月30日（日）

場 所：アセンブリホール（学科教育）
第2体育館（実技教育）

講 師：四国通建（株）

受講者数：7名



(5) 出張講演〈技術振興会との共催〉

①

実施日：令和7年8月27日（水） 13:00～16:00

依頼者：大洋電機（株）

実施場所：大洋電機（株）岐阜工場

対 象：20～30名

題目及び講師：「低品位エネルギーの有効活用」（オンライン）

弓削商船高等専門学校 電子機械工学科 嘱託教授 筒井 壽博

「離島工学に基づいた環境・防災・教育活動について」

弓削商船高等専門学校 総合教育科 教授 伊藤 武志

参加者：約10名

②

実施日：令和7年9月11日（木） 13:00～16:30

依頼者：大洋電機（株）

実施場所：大洋電機（株）群馬事務所

対象：3～5名

題目及び講師：「表層潮流のエネルギー利用」

弓削商船高等専門学校 電子機械工学科 教授 長井 弘志

「有限要素法によるCAE入門」

弓削商船高等専門学校 電子機械工学科 准教授 政家 利彦

参加者：8名

③

実施日：令和7年9月16日（火）～9月17日（水） 10:00～15:00

依頼者：イワキテック（株）

実施場所：弓削商船高等専門学校

対象：5名

題目及び講師：「有限要素法による構造力学入門」

弓削商船高等専門学校 電子機械工学科 准教授 政家 利彦

参加者：5名

4. 共同研究、受託研究、外部資金獲得の推進

(1) 科研費、A-STEP等への応募の促進

【科学研究費助成事業に係る校内説明会および講演会】

日時：令和7年5月12日（月）

場所：アセンブリホール

講師：商船学科 助教 池田 真吾

情報工学科 教授 田房 友典

受講者数：37名



【科研費レビュー】

期日：令和7年6月9日（月）～7月24日（木）（全8回）

場所：第2会議室

対象者：商船学科 助教 西田 充宏

電子機械工学科 助教 森 耕太郎

情報工学科 助教 梅木 陽

総合教育科 准教授 牧山 隆洋

実施者：商船学科長 二村 彰
電子機械工学科長 瀬濤 喜信
情報工学科長 徳田 誠
総合教育科長 久保 康幸
商船学科 助教 西田 充宏
電子機械工学科 教授 ダリア ガンバット
電子機械工学科 准教授 福田 英次
電子機械工学科 助教 森 耕太郎
情報工学科 教授 前田 弘文
総合教育科 准教授 牧山 隆洋

5. 知的財産関連事業

(1) 知的財産セミナー

日 時：令和7年7月3日（木）14：30～16：00
場 所：アセンブリホール
題 目：「特許を中心に知的財産の基本を学ぼう」
講 師：壬生弁理士事務所 弁理士 壬生 優子 氏
参加者：学生108名、教職員7名



6. 教育研究の振興

(1) 学生の学会発表への支援

【令和7年度電気・電子・情報関係学会四国支部連合大会】

日 時：令和7年9月27日（土）
場 所：高知大学朝倉キャンパス 共通教育3号館（高知市）
対象者：2名

【第31回高専シンポジウム】

日 時：令和8年1月24日（土）
場 所：尼崎商工会議所（尼崎市）
対象者：1名

【超異分野学会 東京2026】

日 時：令和8年3月7日（土）
場 所：ベルサール新宿グランドコンファレンスセンター（新宿区）
対象者：1名

(2) 国際交流への支援

日 時：令和7年9月4日（木）～9月19日（金）

渡航先：モンゴル技術科学大学（モンゴル国）

対象者：1名

令和7年度研究等に関する報告

1. 共同研究

区分	研究題目	契約金 (千円)	研究期間	相手先	研究担当者名
新規	ヒューマンインタフェースの研究とインタラクション教材の開発	33	令和7年4月1日 ～ 令和11年3月31日	インタロボット (株)	長井 弘志
新規	ITに不慣れな利用者を対象としたコンピュータ対戦型ボードゲーム支援システムの開発	26	令和8年3月10日 ～ 令和10年3月31日	株式会社STU DIO3	長井 弘志
継続	大気圧プラズマによる焼却炉排気ガスの有資源化研究	変更契約 1,067	令和6年12月11日 ～ 令和8年9月30日	(株)山陽レック	佐久間 一行
継続	L o R a / L o R a W A N / A I S ハイブリッド型無線システムによる船舶運航支援システムの開発と減災応用に関する研究	0	令和6年1月15日 ～ 令和8年3月31日	愛媛大学、 国立研究開発法人情報通信研究機構	益崎 智成
継続	ITに不慣れな人を手助けするコミュニケーション支援システムの開発	26	令和5年1月13日 ～ 令和8年3月31日	株式会社STU DIO3	長井 弘志
継続	工場作業におけるロボットスーツ着用効果の検証	変更契約	平成31年2月1日 ～ 令和8年3月31日	井原精機(株)	森 耕太郎

2. 受託研究

区分	研究題目	契約金 (千円)	研究期間	相手先	研究担当者名
継続	VR・AR 技術を活用した、小中学生向けの仮想乗船体験システム等の構築	変更契約	令和6年3月1日 ～ 令和9年3月31日	日本内航海運組合総連合会	中村 真澄 湯田 紀男 (分) 山崎 慎也 (分) 松内 美緒 (分) 瀬濤 喜信 (分) 福田 英次 (分)

3. 科学研究費助成事業

区分	研究種目名等	研究課題名	補助金額 (直接経費) (千円)	代表者/ 分担者	氏名
新規	奨励研究	離島工学にも基づく低軌道衛星通信を利用した低コスト防災通信システム開発	480	代表者	向井 利夫
新規	研究活動 スタート支援	量子カオスの指標を用いた船の転覆の方程式の新たな分類体系の研究	1000	代表者	西田 充宏
継続	基盤研究 (C)	ガスクロミックゲル膜による水素ガス漏洩検知センサーの開発	320	代表者	村上 知弘
継続	基盤研究 (C)	外部刺激に対応して内部湿度を調整するフィルム材料の開発	1700	代表者	池田 真吾
継続	基盤研究 (C)	「かたち」に関する数学教材の開発	400	代表者	雙知 延行
継続	基盤研究 (C)	国内外における竹炭プレバートを利用した複合的生物・環境教育プログラムの構築	280	代表者	伊藤 武志
継続	若手研究	液中マイクロバブルプラズマによる二酸化炭素資源化技術の開発	600	代表者	佐久間 一行
継続	若手研究	部品からの再構成を通じたUML学習支援	400	代表者	榎本 浩義
継続	基盤研究 (C)	モーション認識によるライフジャケット着用検知と小型船舶安全管理見守りシステム	800	代表者	田房 友典
継続	基盤研究 (C)	配管検査用ロボットのためのタイヤ交換を必要としない転倒防止策	700	代表者	前田 弘文
継続	基盤研究 (C)	日本語学習者の音声習得を支援する大規模音声コーパスの構築	600	代表者	山本 健太

継続	基盤研究 (C)	船用発電機を用いた廃食用油の再資源化の可能性について	100	代表者	秋葉 貞洋
新規	基盤研究 (C)	剣道競技における竹刀打突力の再現と竹刀の耐久性、安全性の評価	80	分担者	田房 友典
継続	基盤研究 (C)	ガスクロミックゲル膜による水素ガス漏洩検知センサーの開発	80	分担者	池田 真吾
継続	基盤研究 (C)	国内外における竹炭プレパレートを利用した複合的・生物・環境教育プログラムの構築	140 140 140	分担者	森 耕太郎 益崎 智成 梅木 陽
継続	基盤研究 (B)	大学物理の伝統的授業内容に対するアクティブ・ラーニング型授業の定量的有効性検証	200	分担者	牧山 隆洋
継続	基盤研究 (C)	航空宇宙開発新時代を見据えた機械設計教育とその個別試作及び性能把握手法の創造	延長	分担者	長井 弘志
継続	基盤研究 (C)	航空宇宙開発新時代を見据えた機械設計教育とその個別試作及び性能把握手法の創造	延長	分担者	筒井 壽博

4. 研究助成等（公募型共同研究含む）

研究題目	経費 (千円)	研究期間	相手先	研究担当者名
上島町における放置竹林を活用した竹炭生産の実証研究	755	令和7年11月4日 ～ 令和8年2月28日	公益財団法人日本離島センター	森 耕太郎
FT-IR を用いた液中プラズマによる水素同位体交換反応の検証	173	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	核融合科学研究所	佐久間 一行
大気圧プラズマによる焼却炉排気ガスの有資源化研究	9,600	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	広島県	佐久間 一行
浮体水路の内部流れに対する風が及ぼす影響に関する調査	100	令和7年4月1日 ～ 令和9年3月31日	名古屋大学宇宙地球環境研究所	筒井 壽博
小中高等学校の外国語教科書におけるデジタル教材の拡張性に関する調査研究 ―学習者の適性に応じた主体的な活用に向けて―	500	令和7年4月1日 ～ 令和9年3月31日	公益財団法人日本英語検定協会	濱田 活仁
個別最適な学びを実現する複線型の英語科授業を志向した共同生成的アクション・リサーチ	300	令和6年7月12日 ～ 令和7年8月22日	公益財団法人日本英語検定協会	濱田 活仁

※本校又は他機関の研究者が代表者で本校研究者が分担者の場合、氏名の後に（分）と表記

5. 技術相談

令和7年度実績なし



令和8年3月発行

独立行政法人国立高等専門学校機構

弓削商船高等専門学校（企画広報室）

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削
1000

TEL (0897) 77-4613

ホームページ <https://www.yuge.ac.jp>